

【四月の言葉（令和二年）】

大切なものは一つだけ

家族・仕事・財産・地位・健康・学歴・・・

私たちの大切にしているものはたくさんあります。

これらの中で何が一番大事ですか。

逆に、どれだったら真つ先に捨てられますか。

・・・簡単に選ぶことはできませんね。

何かをこの上なく大事にするということは、どこかで何かを犠牲にすることです。「家庭と仕事を両立」と言っても、やはりどこかで加減をしなければできません。私たちは二つのことを同時に完璧にはできません。

家庭も、仕事も、地位も、財産も、健康も、永遠を願いつつも脆く崩れやすいものです。

対して、お念仏・仏法とは、揺るぎのない価値観です。それを抛り所とする人生は、現実の苦を捉えていく「ものの見方、考え方」が変わり、たとえ苦に出遭つても、前向きなエネルギーや生きる勇気を得ることができるよう。